

平成 29 年 度 学 校 目 標

県立藤沢工科高等学校

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の社会的・職業的に自立する力を育成するための教育課程の編成に取り組む。 ②全教科で生徒の学習意欲を喚起させ、基礎学力を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力の向上を図る授業改善を推進する。	・年間授業時間数をふまえながら、新たな教育課程に沿った教務規程の策定を行う。 ・生徒が専門スキルや各種検定、資格取得に取り組むよう推進する。 ・生徒の基礎学力を定着させるために幅広い学習希望の提供を行う。 ・言語活動を各学校の学習活動の中でどのように展開させるのかを意識した授業改善を行う。	・教務規程の細部にわたって見直しを行いながら年間の授業計画をたてていく。 ・生徒が各種検定、資格取得に取り組むよう指導し、スキルアップや資格取得率、合格率向上に向けた体制づくりに取り組む。 ・生徒の幅広い学習希望に応えるため、高大連携事業を推奨し、より多くの体験的・経験的な学習活動に取り組む。 ・授業の意識改革、積極的な公開授業や授業見学のきっかけづくりとして、期間を設け、授業見学を実施する。	・学校全体の共通理解をとりながら、次年度に向けて早めの対応ができたか。 ・計算技術検定や情報技術検定など合格率が昨年度より向上したか。 ・生徒が高大連携などを活用した講義や講演などへの参加が昨年度より増加したか。 ・実施期間内に授業見学を規定回数以上行うことができたか。
2	生徒指導・ 支援	①規範意識を身に付けさせ、社会から期待される主体的な行動力をもった生徒を育成する。 ②生徒一人ひとりに応じた学習支援と教育相談体制を充実させる。 ③生徒会活動を活性化させ、自主的、主体的な部活動を推進する。	・卒業後の進路を見据え、挨拶、頭髪服装などの身嗜みなど、基本的な生活習慣を身につけ、自律性のある人材の育成を行う。 ・すべての生徒が学校生活を健康で安心して送れるようにする。 ・生徒が行事や部活動に主体的に取り組むようにするとともに、リーダーを育成する。	・登校安全指導、遅刻指導や頭髪服装検査などを通じ、職員が一体となりきめ細かい指導を心がけ、基本的な生活習慣や社会性を身につけさせる。 ・発達障害や生徒の抱える課題への理解を深めるため、研修会を実施する。 ・教育相談体制の充実を図るための教育相談CD会議の設置、事例検討会を実施する。 ・生徒会行事や部活動の活性化のための助言をおこない調査を実施する。	・挨拶、身嗜み等の基本的な生活習慣が、身についたか。 ・生徒の抱える様々な課題について理解を深めることができたか。 ・SCやSSWとの連携（連絡、相談）が有効に働いたか。 ・生徒会行事、部活動への生徒の参加数や活動意識が高まったか。
3	進路指導・ 支援	①LHRや総合ガイダンスの年間計画を見直し、職業教育・進路指導を充実する。 ②生徒一人ひとりに応じた進路指導体制を充実させるとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。	・生徒が「生涯にわたる自分づくり」を主体的にできるよう、総合ガイダンスや進路説明会等を通して支援をする。 ・就業体験や現場実習に参加する生徒を増やし、体験報告会でプレゼンテーション能力を高める支援に取り組む。 ・進路のミスマッチを無くすため生徒や保護者との連携を深める。	・「卒業生に学ぶ会」や「職業理解ガイダンス」を通して自分が進む系や進路への理解を深める。 ・進路ガイダンスや地元企業の説明会を行ったり、クレペリンやSPI3模試などを実施したりして、生徒が自らの進路について考えられるよう支援する。 ・学年職員と連携し生徒の状況把握と書類準備等で個別指導を行う。 ・12月に進路説明会、2月に高校内企業説明会を実施する。	・各種ガイダンスを通じて生徒が進路決定出来たか。 ・就業体験への参加生徒が増えたか。 ・生徒が体験報告会でプレゼンテーション能力を高められたか。 ・進路のミスマッチを防ぐ事が出来たか。
4	地域等との 協働	①工科高校の特長を活かした小、中学校への学習支援と家庭・地域との連携により、生徒に学びの大切さを理解させるとともに社会性を高める。 ②地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、地域に貢献する。	・本校の教育力を地域や小中学校へ伝え、生徒主体の学校広報活動を充実させる。 ・近隣の学校や地域との連携を深めるため、工科高校の特長を生かした地域貢献活動に全校で取り組む。	・ふじさわ産業フェスタやイルミネーション湘南台など地域イベントへ積極的に参加し地域連携に取り組む。 ・わくわく体験教室や小学生との交流事業、高校体験プログラムの充実を図る。	・地域イベントへ積極的に参加し、生徒主体で工科高校の教育力を地域に伝え、学校広報活動ができたか。 ・各行事で本校生徒を主体的に参加させ、前年度比10%以上の増加になったか。 ・地域と交流する機会を通して生徒の社会性を育むことができたか。
5	学校管理 学校運営	①全職員が学校運営上の課題に迅速に対応できる体制づくりを行う。 ②地域、保護者から信頼された学校づくりを実践する。 ③生徒の防災意識を高める取り組みを実践する。	・防災訓練の内容を充実させ、生徒の防災意識を高める。 ・積極的に社会参加する能力や態度を育成するため、家庭・地域と協働した教育を実践する。	・防災マニュアルを改訂し、防災訓練を2回、実施する。 ・生徒会生徒や部活動の生徒と協力し、地域の防災訓練に参加する。 ・六会地区防災マップを活用し、災害図上(DIG)訓練を実施する。 ・HP等を活用した広報活動や情報提供を行う。 ・一斉メール配信システム(COCOメール)を導入し、新たな連絡体制を確立する。	・生徒の防災意識を高めることができたか。 ・地域、保護者の本校の教育活動に対する理解と信頼が向上したか。 ・HPアクセス数。 ・メール配信回数、加入者数。